

Mr. Kei. Kayama  
29-10 - C  
Hunt, Idaho

Aug 2, 1943

Dr. Keizaburo Kayama

Barrack 54

Santa Fe Detention Sta.

Santa Fe, N. Mexico



野三郎村

清子のバースデーはハイテンと知りませぬ

大妻花がまじりて 丁度運良くスプリング

チキンが平に入りまらんが ナスホールのキケンイ

ニゴをやめ 料理をとりまわすおが美味に

フライパンをこまらした サンドイッチはするマヨネズ

トマト、レタスなど下をこまらした 各種ブレドをお

カンテーンがキケンを買たまらした ニゴをゆか

アトをこまらした パパが花がたんのうま味を

アトをこまらした 清子は自命の好むお友達 ぼろり人計り

おまわりのしるすの十時頃まで大さゆでこいて

目をこめて大花だ。 清子の口へ、おまわりのしるす

おまわりのしるすは 六月の世間をとまらした。おまわ

いヶ月のしるすをこまらしたおまわりのしるす

貴君のお手紙は 大が英譯にて

クドイナフ夫妻のたえへお送りなすことおまわりのしるす

お花がたのしるす。 且今お最後の二通を譯

こいて おまわりのしるすをこまらしたおまわりのしるす

ミスタークドイナフのバースデーは先日記インホール

DETAINED ALIEN  
ENEMY MAIL  
EXAMINED  
BY: [Red Stamp]  
U. S. I. & N. S.

July 26 1943  
26-10-2  
Herald Decker

一に由在性にも買て来あしんカレデーをが送りしきた  
六ヶ年百の病床を流、ほんこんかゆるるに  
中下りも病気が取りつくりかせ

清子のバースデーに無一中うさ一邦送られ  
来まされた、とてこの中にも病くの節書面を

同封して有りましといふ、お前達の宗族  
同様の喜んお達が元元刑まけんとぬこ

最善をつらうに算だて、おれ一ツカゴドイナ  
夫人の加手紙を讀むと其の書体は神意

に活らされまう、天の神まおけ、愛一  
読む、立派なクヌキ、奥の米国人が

ミスウーゴドイナ、お存命申、一唐お目  
笑りた、お、昇く戦軍が流るるおくが

まさ、一ツカゴドイナ、  
別れは残りまうは実ル淋、一するお

併し自命達は未だ、感謝するは流るる

有りまう、米國の病が、おを斯る、一無う  
おをたて文通の出来まうは女りまを、  
おの面りんた、有りまうお、おにた、

米國の神士國、基督教、  
おれ自身は基督信者なり、お方なり米國人

抱いて居りまう、自信は有りまう、

抱いて居りまう、自信は有りまう、

一林先生の轉任が先づかたはるるに就いて  
 貴志報の批評はあまり積極的の思はれ  
 ません。只今此のまゝに日英兩誌が先來の  
 なる物師の内に林先生の右へお出にたる下は  
 居られませう。二社の物師の居られおしに  
 日本誌があまり思はしくありません。用教師の  
 本川先生をおいひありませうが佛教師の  
 只今少しはオハデカッテせう。信仰の深  
 日本誌だけお先來にたる師の務るが用教師  
 が未だくく君くごうやませう。とるに  
 お下にはさうと精神の操がわる米と  
 年は十二令ル導人では先來あり。二社日  
 立のついで出所しませう。従て英語を  
 物師は要中なたるなりませう。只今が所外  
 人の物師がへしにたがれませう。  
 林先生は大きな使命の下にわし出所せられたる  
 たりませう。アポリス大が日本誌教授のため  
 せん同大學生の居る二社の指導者たるが  
 せませう。若し米日尚ル諸學を専らして  
 眞の理解が存在して居るに感は此の邊に  
 一戰争のるるが居るたるなりませう。若し  
 若し一戦の男子があらむに。とるに少し日本  
 誌のわが有るに此のたるるルケツくして  
 おませう。邊少し可なりませう。

林先生に

其外には高給あり過ぎるが自命のするに、つまり

一妻女子に米国人があるが家族の事は無き論  
ありませぬ。貴君のそれなやうな批評を

それな人々も多くありませぬ 併し、萬一  
貴君が先生の立場に居られぬか、同いんステマ

を取られぬと私の信にあり、貴君が三人  
の米国人の小使に居りませぬ、何半詰り子そ

運にして子供等を理解したる者ありませぬ  
努力されればなれたる存在ありませぬ。

米国人くくと言ふは、おやおはやはり、じゃつと  
と、一二月見られるが、おはらしてなされるものを知れ

ませぬ。併し、おはらして教へられたるは、おはら  
我輩は子供等をクリスチャン米国人と看せしむる

小使も、キリストの教へを授けしむる子供等の  
それな人に貢献しては、おはらして、おはら

人は二人の主は仕ふる。おはらして、おはら  
我輩は子供等を二つの人々と看せしむる

それな出来ませぬ。  
それなドカハントの暑くありませぬ。一日に二度

つ、レヤワを振りませぬ。おはらして、おはら  
一日の内教は、おはらして、おはらして、おはら

それな知りませぬ。おはらして、おはらして、おはら  
それな知りませぬ。おはらして、おはらして、おはら

「3」を男のありし何かがありき也

「7」七人侍落しは世にワツクビワツクをーん

おられまの、お足が痺せのにはね。お之の

ボイスは軍隊に入らなれまの、コリー

長、下外が御のて居られる、ワスチニ

ルカナリ、出、行、おれま、ん、若、者、々

皆々生所にて、強、るは老人、子、後、病人

外、に、ありまの、此れは轉任所、おけ、は、ま、ん、

外、に、い、る、。交戦、國は皆々生所、い、る、が

せ、う、毎、日、く、花、が、行、く、罪、の、重、い、各、國、の

兵、士、達、の、子、を、思、ひ、ま、す、と、早、く、戦、争、が

終、り、ま、す、や、う、し、祈、ら、ず、に、は、な、れ、ま、す、や、祈、り

居、り、ま、す、と、お、蓮、の、お、女、達、の、ボ、イ、ス、達、の

軍、隊、に、入、ら、な、れ、る、お、顔、が、目、の、前、に、ま、す

つ、ま、ま、す、。、ン、若、の、お、顔、は、再、び、ま、さ、り、居、る

考、へ、は、持、ち、ま、す、。、ま、い、に、い、る、。、行、く、に、な、る

に、い、ら、う、。、侍、落、し、の、。、今、日、も、な、ま、り、が、あ、り

ま、い、な、よ、。、ま、い、に、。、葉、を、ヒ、ツ、ク、ス、イ、ウ、と、い、ふ、に、ね

ダ、ク、ア、ー、。、山、は、女、達、と、い、は、は、な、な、な、け、で

デ、ン、テ、ス、ト、と、い、は、大、き、な、な、と、い、ふ、に、ね

あ、の、ヤ、ン、キ、ン、ボ、ー、イ、の、。、私、は、年、紀、を、讀、み、あ、ら、う、が、  
笑、つ、ま、り、泣、い、た、り、。

グッドナフ夫人あざや女のボーイも作らる。あはれこ  
一のボーイも取られなれ何日のおき面にもあつて  
一有りあす。うを相見「こま」と胞がつまりあす。  
ローイは軍くカービン「作」のヤツケ左ハ  
言「こま」のあす。併「こま」やま「こま」  
ま「こま」有りあす。ま「こま」どうのハート  
仕る「こま」「こま」が「こま」「こま」

ふ井リーは昨日曜の朝世のボーイスカウト  
と「こま」カンピングに「こま」作「こま」ツイ  
ホーリス「こま」マインの「こま」「こま」  
一週「こま」フリー「こま」「こま」が「こま」  
一井拂「こま」「こま」「こま」ハ「こま」  
の「こま」「こま」「こま」ハ「こま」

皆「こま」の「こま」ル「こま」「こま」  
やり「こま」「こま」ダニ熱の「こま」法「こま」  
行「こま」「こま」「こま」「こま」  
病院「こま」やり「こま」又「こま」せ「こま」  
か「こま」「こま」せ「こま」「こま」の「こま」ハ「こま」  
か「こま」「こま」左「こま」「こま」「こま」  
「こま」「こま」「こま」「こま」  
「こま」「こま」「こま」「こま」  
「こま」「こま」「こま」「こま」  
「こま」「こま」「こま」「こま」

照子